

整理番号	30-12	事務事業名	地域商店街活性化事業		作成部署	経済部商業労働課	電話	内線858
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	池上 俊廣	課長職名	野呂 一司	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H3	根拠法令等						
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	各地区の商店街振興会が実施する地域の賑わいを創出する各種事業を支援し、商店街の活性化を図ることを目的に事業を開始した。							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	力強い産業活動が展開されるまち	(第6章)
	節	商業	(第3節)
	施策	商業団体の育成	(第4施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	4地区の商店街振興会に加入する商工業者等 ・北広島中央商店街振興会・大曲輪厚商店街振興会・北広島団地商店街振興会・西の里地区商店街振興会	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	各地区の商工業者が連携して、地域の特性を生かしながら商店街の賑わいと活性化を図る各種の事業に対して助成	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	・地域の環境美化 ・各種イベント等の開催及び協力 ・研修会、講習会の開催 ・行政機関及び商工会等との連携
		17年度	同上

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	872	872	880	880
	合計	872	872	880	880
人件費(概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +		1,322	1,322	1,330	1,330

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	会員数	218人	218人	216人	220人
	イベント開催数(協賛)	4回	6回	6回	6回
	研修会開催数	4回	4回	4回	4回
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	[代替指標]				
	イベント開催数(協賛)	4回	6回	6回	6回
	研修会開催数	4回	4回	4回	4回
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	会員1人当たり補助金 (補助金÷会員数)	4,000円	4,000円	4,000円	4,000円

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	大型店の進出により各地で商店街が衰退に追い込まれている。商店街は地域住民にとっては憩いの場であった。商店街では「賑わい」や「ふれあい」を創出するイベントを開催する等して商店街の活性化に取り組んでいることから市としても支援している。
---------------------------------	---

**【妥当性の評価と改善の方法等】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	各地域の核となる商店街が活性化されることで地域の賑わいを創出する上で行政としての支援は必要である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	商業環境の変化する中で商店街の果たす役割は益々重要となっている。商店街の活性化を図るため振興会への補助は妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	商店街振興会が自主財源を確保して各種イベント等を実施することは難しさもあることから、行政として地域の活性化を図るため事業費を助成することは妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)  該当しない		

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	会員の研修事業、イベント事業等を通じて商店街の活性化が推進されているほか、イベントには多くの市民が参加しており、地域の活性化が図られている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	各地域の商店街振興会が、地域の活性化を目的に自主企画し実施するイベントや研修会に補助するものであり、概ね効率的と判断する。	

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	商店を取り巻く環境の変化により、事業者の自主自助を促し、商店街の活性化を図るためには今後も継続していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	消費者や地域住民から支持される身近な商店街は必要であることから、商店街活性化を図るため継続する。

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	30-12
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域商店街活性化事業補助金		
交付先の名称及び代表者名	大曲輪厚商店街振興会 会長 国田 恒吉	設立年	S54
構成員(団体)数	55人 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	商業、サービス業の発展と会員相互の親睦を図り、地域の発展に寄与することを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街地区の環境整備</li> <li>・地域主催行事への協力及び独自イベントの開催</li> <li>・販売経営に関する研修等</li> <li>・会員の資質向上を図る研修会、講習会の開催</li> </ul>		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	224	228	220	
	連合会助成金	200	200		
	会費	422	408	420	
	諸収入	308	126	154	
	その他	170	192	108	
	繰越金	140	111	207	
	<b>収 入 合 計(B)</b>	<b>1,464</b>	<b>1,265</b>	<b>1,109</b>	
支 出	事業費	834	340	350	
	事務費	21	31	30	
	負担金	72	60	60	
	会議費	168	178	150	
	その他(研修等)	258	449	519	
	<b>支 出 合 計(C)</b>	<b>1,353</b>	<b>1,058</b>	<b>1,109</b>	
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	111	207	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		17 %	22 %	20 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費	事業費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		834	340	350	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		27 %	67 %	63 %	
補助・交付金の算出根拠		定額補助(会員1人当たり 4,000円)			

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	30-12
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域商店街活性化事業補助金		
交付先の名称及び代表者名	北広島中央商店街振興会 会長 鈴木 陽一	設立年	S50
構成員(団体)数	101人 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	地域内の商業、工業の発展と会員相互の親睦と調和を図り、商工業の発展に寄与することを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者と融和・調和を図る各種事業の実施並びに参画</li> <li>・地域内の環境整備、美化の推進及びリサイクルの推進</li> <li>・会員の資質向上を図る各種研修会の開催</li> </ul>		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
支 出	本市補助・交付金の額(A)	404	404	404	
	連合会助成金	200	200		
	会費	1,147	1,176	1,200	
	諸収入	2,438	2,999	2,739	
	その他(研修負担金)	126	192	200	
	繰越金	189	393	157	
	<b>収入合計(B)</b>	<b>4,504</b>	<b>5,364</b>	<b>4,700</b>	
支 出	事業費	3,117	3,612	3,310	
	旅費				
	負担金	81	102	83	
	会議費	200	223	200	
	研修費	425	970	800	
	その他(予備費)	51	116	107	
	事務費	237	184	200	
	<b>支出合計(C)</b>	<b>4,111</b>	<b>5,207</b>	<b>4,700</b>	
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	393	157	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		10 %	8 %	9 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費	事業費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		3,117	3,612	3,310	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		13 %	11 %	12 %	
補助・交付金の算出根拠	定額補助(会員1人当たり 4,000円)				

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	30-12
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域商店街活性化事業補助金		
交付先の名称及び代表者名	西の里地区商店街振興会 会長 中野 昭雄	設立年	S53
構成員(団体)数	18人 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	会員相互の親睦を図ると共に地域商業の活性化と地域の発展に寄与することを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	・地域イベントの参加 ・会員の資質向上を図る各種研修会、講習会の開催		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	68	72	72	
	連合会助成金	200	200		
	会費	180	170	170	
	諸収入		50	199	
	その他(研修負担金)	425	451	500	
	繰越金	82	96	6	
	<b>収 入 合 計(B)</b>	<b>955</b>	<b>1,039</b>	<b>947</b>	
支 出	事業費	609	735	640	
	旅費	17	21	30	
	負担金	10	10	11	
	会議費	126	145	150	
	事務費	38	35	35	
	その他	59	87	81	
	<b>支 出 合 計(C)</b>	<b>859</b>	<b>1,033</b>	<b>947</b>	
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	96	6	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		8 %	7 %	8 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費	事業費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		609	735	640	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		11 %	10 %	11 %	
		定額補助(会員1人当たり 4,000円)			

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	30-12
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	地域商店街活性化事業補助金		
交付先の名称及び代表者名	北広島団地商店街振興会 会長 住田 優	設立年	S56
構成員(団体)数	42人 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	地域商業の発展と会員相互の親睦に寄与することを目的とする。		
交付先団体等の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りほかイベントの開催</li> <li>・会員事業の宣伝、従業員の育成</li> <li>・各種研修会、講習会の開催</li> <li>・道内外の視察研修の実施</li> </ul>		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	172	168	168	
	連合会助成金	200	200		
	会費	706	569	624	
	諸収入	572	948	757	
	繰越金	306	316	243	
	<b>収 入 合 計(B)</b>	<b>1,956</b>	<b>2,201</b>	<b>1,792</b>	
支 出	事業費	1,398	1,147	966	
	研究費	10	65	65	
	負担金	53	93	90	
	会議費	140	274	270	
	事務通信費	39	85	90	
	その他		294	311	
	<b>支 出 合 計(C)</b>	<b>1,640</b>	<b>1,958</b>	<b>1,792</b>	
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	316	243	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		10 %	9 %	9 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費	事業費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		1,398	1,147	966	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		12 %	15 %	17 %	
補助・交付金の算出根拠	定額補助(会員1人当たり 4,000円)				